

いのち ひろば

連載

(5)

毎月1回、中旬の水曜日に掲載

今月のひとこと

歌を歌う、歌を聴く、楽器を演奏するなど音楽に触れることによって、日頃のストレスを解消し、心豊かなそして心穏やかな人生を送りましょう!

地域とともに

歩んできたこの10年

小田原医師会理事 中山 莊太郎



はじめに

2008年に神奈川県内のみならず全国的にも珍しい医師会合唱団がこ小田原に誕生しました。3月15日に初練習、6月21日には小田原市民会館小ホールにて結成記念コンサートを開催、千の風になつて」とラヴェル・ヴェルム・コルプス」の2曲からのスタート、その後2018年までの10年間はあっという間でし

さて、この合唱団には医師だけでなく、歯科医師・薬剤師・保健師・看護学校職員・医師会事務局員などさまざまな職種の方々が参加、それが地域医療における多職種連携の一つの形となつてきました。結成当初は団員の知人・友人・患者さんなどが定期演奏会に足を運んでくれていましたが、最近ではより多くの方が聴きにきてくださっています。小田原市内から神奈川県内外へと、人の輪が広がっていきようではないかと期待しています。

医師会合唱団というこころフェスティバル、認知症をいんちしよう会、医師たちによるクリスマス・チャリティコンサート、市民合唱祭、湘南合唱でもある山田浩子先生、金子みすゞさんの世界

副団長である山田洋介先生ご夫妻のご縁で、みすゞさん作詞の歌や世界観に触れるようになりました。そして、みすゞさんの一人娘であるみすゞさんともお会いすることができました。東日本大震災直後のテレビのCMで「一躍注目された」ことまで「ようか」をはじめ、「星とたんぼ」「雪」「不思議」「足ぶみ」「みんなを好きに」「さびしいとき」「葉っぱの赤ちゃん」「鯨法會」などどれも心に響いてくる歌です。この中の5曲は9月の定期演奏会にて合唱する予定です。Nコンでも指導されている大田校子先生作曲の初演となり



♪法法院での公演の翌日に清水寺にて合唱♪



♪パリの教会にて合唱♪

2009年8月8日開

副団長である山田洋介先生ご夫妻のご縁で、みすゞさん作詞の歌や世界観に触れるようになりました。そして、みすゞさんの一人娘であるみすゞさんともお会いすることができました。東日本大震災直後のテレビのCMで「一躍注目された」ことまで「ようか」をはじめ、「星とたんぼ」「雪」「不思議」「足ぶみ」「みんなを好きに」「さびしいとき」「葉っぱの赤ちゃん」「鯨法會」などどれも心に響いてくる歌です。この中の5曲は9月の定期演奏会にて合唱する予定です。Nコンでも指導されている大田校子先生作曲の初演となり

約一カ月後の9月24日(月・祝)、小田原市民会館小ホールにて「第10回記念定期演奏会」を開催します。当日は、金子みすゞさんの「みんなを好きに」(作詞・大田校子作曲)、「さびしいとき」(作詞・大田校子作曲)、「葉っぱの赤ちゃん」(作詞・大田校子作曲)、「鯨法會」(作詞・大田校子作曲)の4曲を合唱します。

小田原医師会合唱団 第10回記念定期演奏会

総合制服企画製造卸 カマルク

催しの記念すべき「第10回定期演奏会」にて、洋介先生のご縁から国内外活躍のチェリストである藤原真理さんと共演することができました。チェロの音色を身近で聴くことができ、貴重な経験となりました。

東北東大ゴールデンイングルスが初の日本一になった2013年11月3日開催の「第5回定期演奏会」にて、フォーカルのメンパーと同じ医師でもあるきたやまさんが大学の同級生であったことから実現したもので、途中トククなども織り交ぜながら、「風」「初恋の人」に似ている「戦争を知らない子どもたち」・感謝・「あの素晴らしい愛をもう一度」などフォークル世代にとって懐かしい歌を合唱しました。

歌と健康 歌うときはお腹から声を出さなければなりません。喉だけを使ってしまうと、全身を使って声を出すことが大切です。腹筋や横隔膜を中心に動かすことにより、呼吸機能、消化機能を刺激して関係する臓器の活性化につながります。

また、歌うときに筋肉の緊張をほぐし、リラックスすることによって副腎皮質ホルモン(ステロイドホルモン)の一つであるコルチゾールの分泌量が減少します。ストレスを受けると増加するコルチゾールが減少することで、心拍数・血圧・血糖値の上昇や免疫力の低下を抑えて、全身状態が安定するようになります。

さらに、姿勢を良くする、口を動かす、息を深く吸い込む、声を出す、歌詞やリズムを思い出す、指を動かす、ピアノの伴奏に耳を傾ける、周りの人の声を聴く、周りの人と声を合わせるなどを同時にすること、それらすべてが脳への刺激となつて脳を活性化させ、認知症の進行を遅らせることにつながります。

「なかやま・そうたろう」1968年東京生まれ。県立浦和高校卒、浜松医科大学卒、東京大学脳神経外科入局。埼玉医科大学総合医療センター、東京大学医学部附属病院、亀田総合病院、日本赤十字社医療センターなどを歴任。2000年6月より林病院(現 杏林クリニック)より小田原医師会広報担当理事に就任、平成29年度より情報担当も兼任。

急病になった時は... 小田原医師会 地域連携室から...

急病になった時は... 小田原医師会 地域連携室から...